

令和6年度 自己評価・学校関係者評価 報告書

岐阜県立岐阜盲学校 

学校番号	101
------	-----

自己評価

学校教育目標	・障がいによる学習上又は生活上の困難を克服し、互いに助け合い、明朗で、たくましく生きる力を身につけ、社会に貢献できる児童生徒を育成する。
--------	--

評価する領域・分野	教務情報部「教務」「情報」	
現状及びアンケートの結果分析等	・学校と保護者との連携、情報の伝達の部分において、確実に保護者との連携や情報の伝達ができているものの、児童生徒自身がそれを把握できていない状態であることが読み取れる。	
今年度の具体的かつ明確な重点目標	・生徒に向けての情報発信と説明をより丁寧に行う	
重点目標を達成するための校内組織体制	・部教務を中心に、所属部所属科の学級担任と連携を取って対応する。	
目標の達成に必要な具体的取組	・部教務及び学級担任との課題の共有。 ・児童生徒本人、保護者への情報発信及び説明。	
達成度の判断・判定基準あるいは指標	・児童生徒の様子や学校評価アンケートについての昨年度との比較。	
取組状況・実践内容等	・学部懇談会や授業参観、個人懇談、PTA総会及び各種委員会の案内を配付する際に、生徒にもこれらを実施する目的や内容を伝え、学校と保護者との間で重要な連携や情報共有の機会をもっていることについての情報発信や説明を行う。	
評価の視点		評価
① 児童生徒が学校と保護者との連携の機会について把握ができたか。		A <input checked="" type="checkbox"/> B C D
成果・課題		総合評価
○学校と保護者との連携がなされていることが、児童生徒の普段の学校生活への安心感にもつながった。 ○寄宿舎で生活している生徒も多く、児童生徒と保護者との間で、交流や細かな情報の共有といった部分が十分でないことも少なからずあることが分かった。今後も丁寧な情報の発信や説明を行っていく。		A <input checked="" type="checkbox"/> B C D
来年度に向けての改善方策案	・学校と保護者との連携がなされていることが、児童生徒の普段の学校生活への安心感にもつながるため、今後も児童生徒への情報発信や説明を丁寧に行っていく。	

学校関係者評価（令和6年6月19日、同年12月7日、令和7年1月19日実施）

意見・要望・評価等	・盲学校の教育活動は様々な活動を計画・実践している。盲学校では、児童生徒が減少しているため、集団活動を確保しにくいことから社会性が育たないという理由で地域の学校への進学を選択されることがある。しかし、視覚障がい支援を含めた教育活動において、これだけのサポートがあることをたくさんの人に知ってもらい、盲学校らしさを作っていくことを願う。
-----------	---